



**堺化学工業株式会社**



**2019年3月期  
中間決算説明会**

**2018年12月11日**

# 目 次

1. 2019年3月期 中間決算概要
2. 2019年3月期 通期予想
3. 注力事業・製品について
4. 海外樹脂添加剤メーカーの取得について
5. 株主還元策



# 2019年3月期中間業績概要（対前期）

金額単位：百万円

摘 要	前中間期 (2017.9)		当中間期 (2018.9)		増 減	
		対売上高比率		対売上高比率		
売上高	42,931	100.0%	43,747	100.0%	816	1.9%
営業利益	2,322	5.4%	2,328	5.3%	6	0.3%
経常利益	2,210	5.2%	2,412	5.5%	202	9.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,205	2.8%	1,528	3.5%	322	26.8%

## 2019年3月期 中間期

- ◆ 医薬原薬・中間体事業の受注の下期偏重や前第2四半期連結累計期間の子会社2社売却が影響したものの、電子材料や酸化チタン、触媒が堅調に推移し、僅かながら増収となった。
- ◆ 高品質・高付加価値製品の販売強化や生産性の向上、価格是正に努めたものの、創業100周年にかかる費用計上と原料価格上昇の影響を受け、営業利益は前年同期並みにとどまった。

# 事業内容と売上高構成

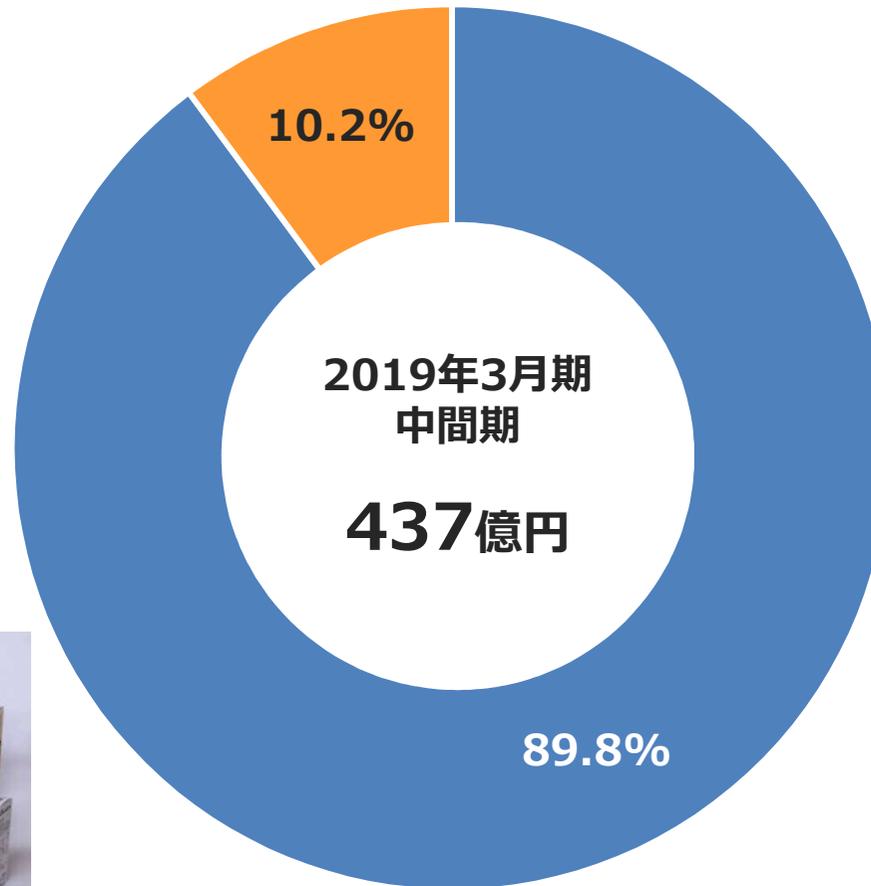
## 医療

バリウム製剤、アルギン酸ナトリウム製剤、医療機器、改源ブランドを柱として、医療用から一般向けまで幅広く医療と健康に貢献する製品・サービスを提供しています。



## 化学

亜鉛製品、バリウム製品、酸化チタンといった天然鉱石から加工する技術や粉体をコントロールする技術などにより、さまざまな分野に展開している主力事業です。

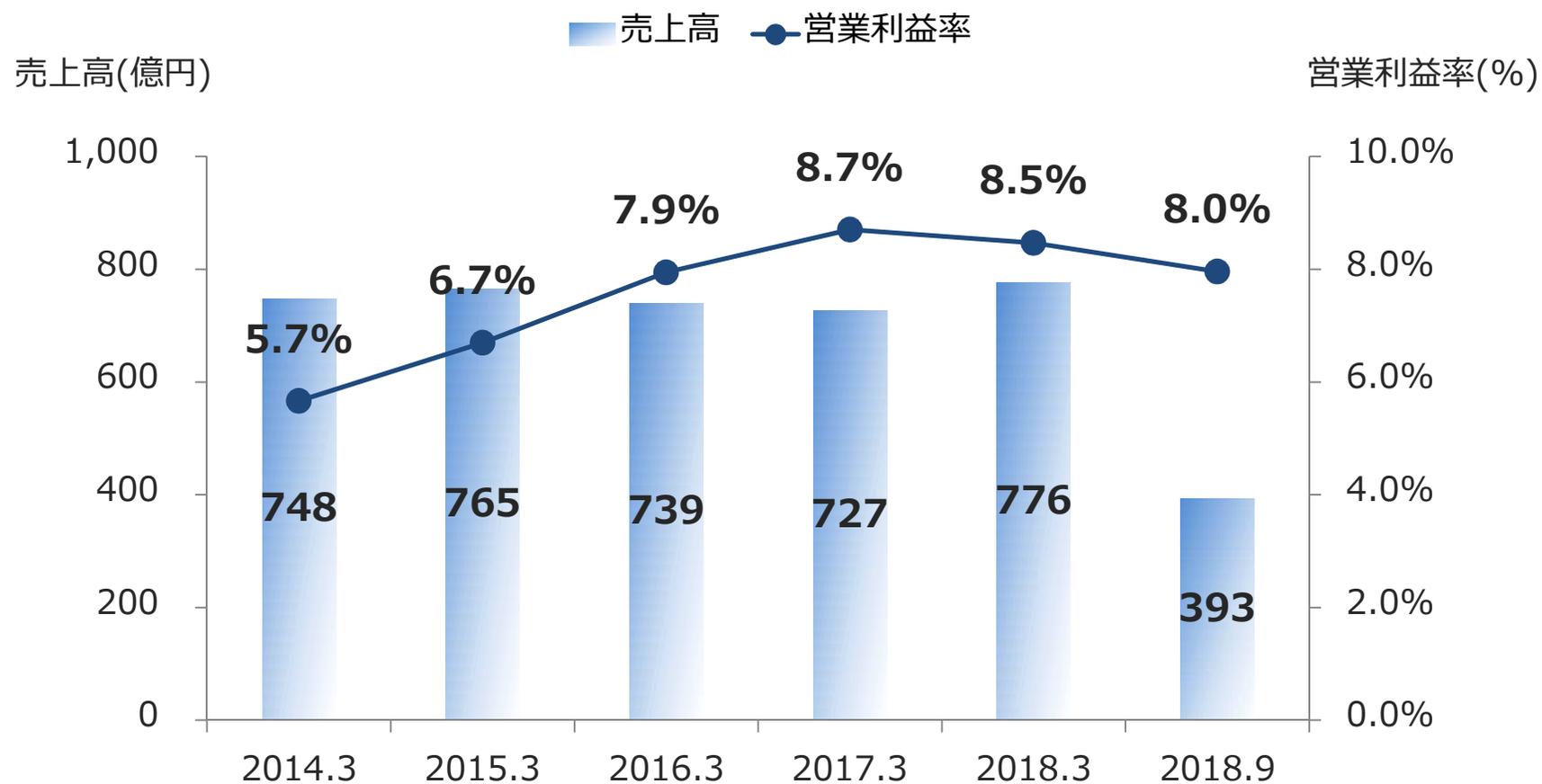


# 事業別売上高・営業利益

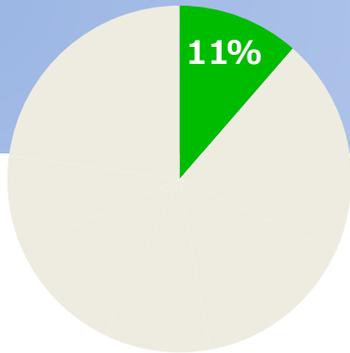
金額単位：百万円

概要		前中間期 (2017.9)	当中間期 (2018.9)	増 減 (率)	
化学事業	売上高	37,309	39,302	1,992	5.3%
	営業利益	3,008	3,128	119	4.0%
医療事業	売上高	4,947	4,445	▲ 501	▲10.1%
	営業利益	245	384	138	56.5%
その他	売上高	674	—	▲ 674	—
	営業利益	16	—	▲ 16	—
調整額	売上高	—	—	—	—
	営業利益	▲ 947	▲ 1,183	—	—
合計	売上高	42,931	43,747	816	1.9%
	営業利益	2,322	2,328	6	0.3%

# 化学事業の売上高・営業利益率



# 電子材料



## ● 中間期比較

(金額単位：百万円)

	2017.9	2018.9	増減(%)
売上高	4,020	4,497	11.9
営業利益	483	366	▲ 24.2

売上高(億円)

■ 売上高 ● 営業利益率

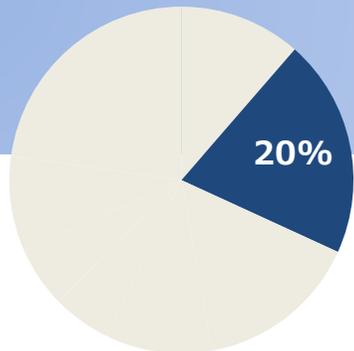
営業利益率(%)



## 2019年3月期中間期のポイント

- 誘電体材料および電極材料は、コンデンサの需要増により売上は堅調に推移したが、原料の値上がりの影響を受けた。
- 前年同期比 売上高+477百万円(11.9%増), 営業利益▲117百万円(24.2%減)

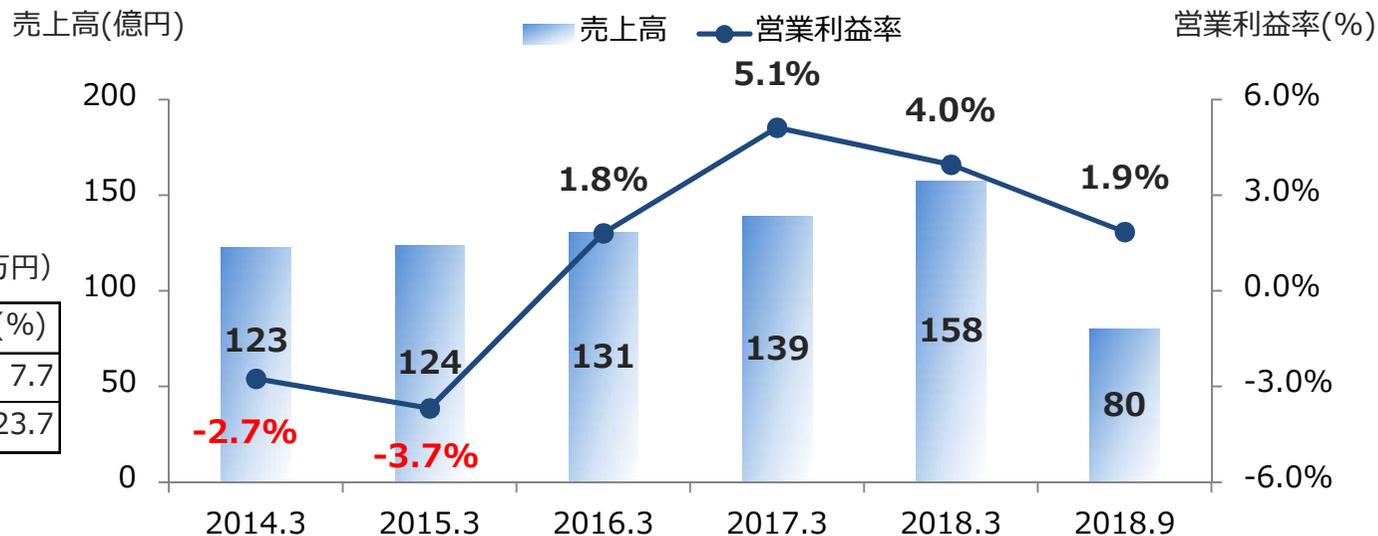
# 酸化チタン・亜鉛製品



## ● 中間期比較

(金額単位：百万円)

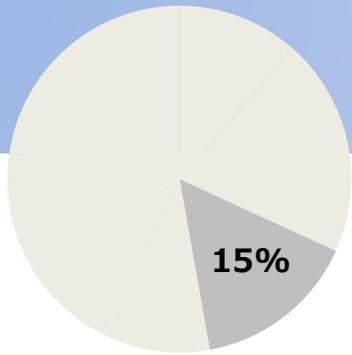
	2017.9	2018.9	増減(%)
売上高	7,424	7,999	7.7
営業利益	194	148	▲ 23.7



## 2019年3月期中間期のポイント

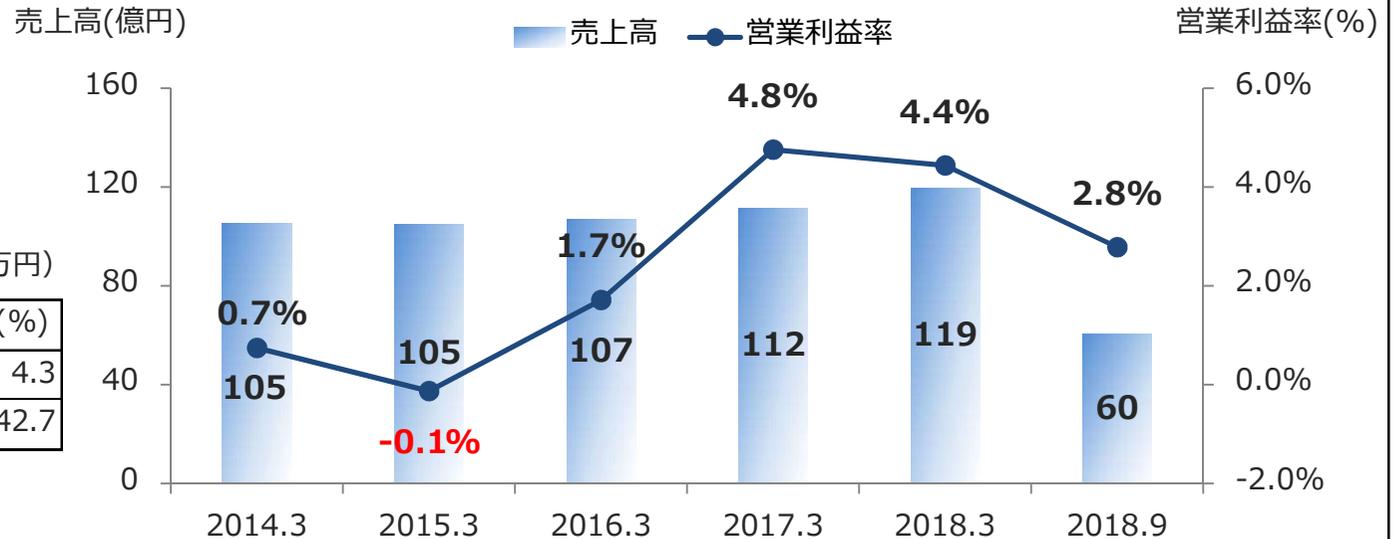
- 酸化チタンは、販売数量が微減となったが、原燃料の値上がりが続く中で価格是正に努めた。
- 化粧品向け微粒子酸化チタンや微粒子酸化亜鉛は好調に推移したが、酸化亜鉛の工業用途向けについては亜鉛建値の下落により利益を落とした。
- 前年同期比 売上高+575百万円(7.7%増), 営業利益▲46百万円(23.7%減)

# 樹脂添加剤



## ● 中間期比較 (金額単位：百万円)

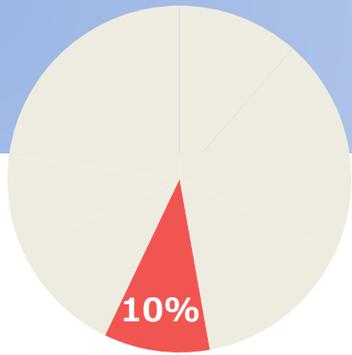
	2017.9	2018.9	増減(%)
売上高	5,800	6,048	4.3
営業利益	293	168	▲ 42.7



## 2019年3月期中間期のポイント

- 国内は、多発した自然災害による生産調整や工事の遅れがあり、パイプおよび工業版用途が低調に推移。
- 海外は、東南アジアを主として非鉛安定剤およびハイドロタルサイトが堅調に推移したものの、為替と原料価格上昇の影響を受けた。
- 前年同期比 売上高+248百万円(4.3%増), 営業利益▲125百万円(42.7%減)

# 衛生材料



## ● 中間期比較

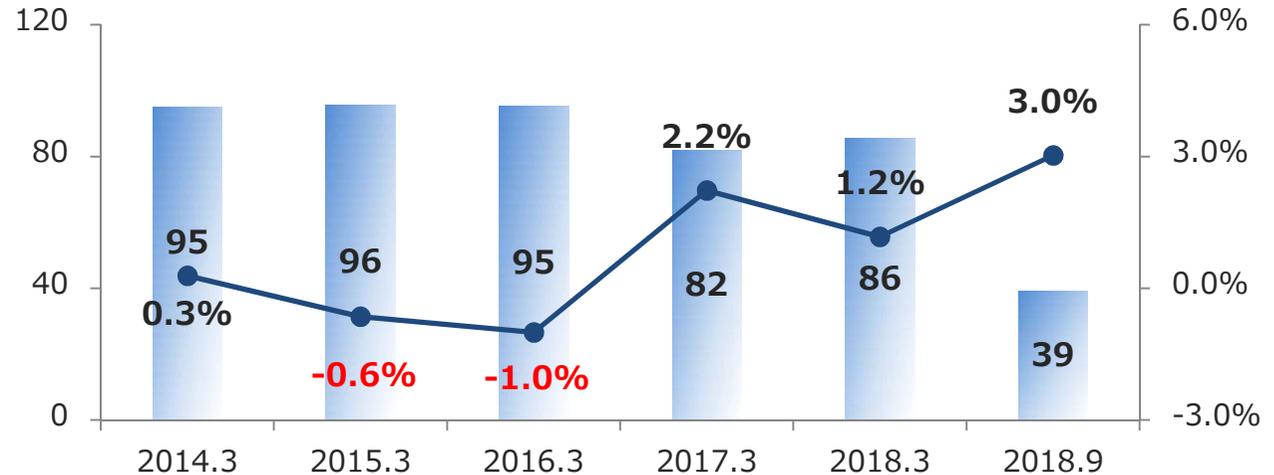
(金額単位：百万円)

	2017.9	2018.9	増減(%)
売上高	4,034	3,907	▲ 3.1
営業利益	18	118	565.7

売上高(億円)

売上高 ● 営業利益率

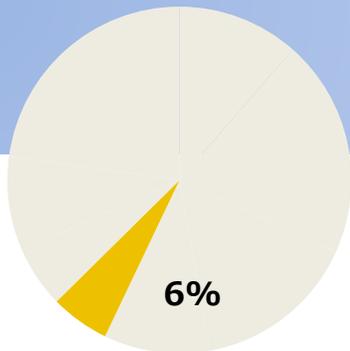
営業利益率(%)



## 2019年3月期中間期のポイント

- 衛生部材(フィルム・不織布)は、売上が堅調に推移し、堺商事のインドネシア子会社での生産性も向上し利益改善。
- 堺商事が仕入れ販売を行っている高吸水性樹脂(SAP)は、拡販が進まず低調に推移。
- 前年同期比 売上高▲127百万円(3.1%減), 営業利益+100百万円(565.7%増)

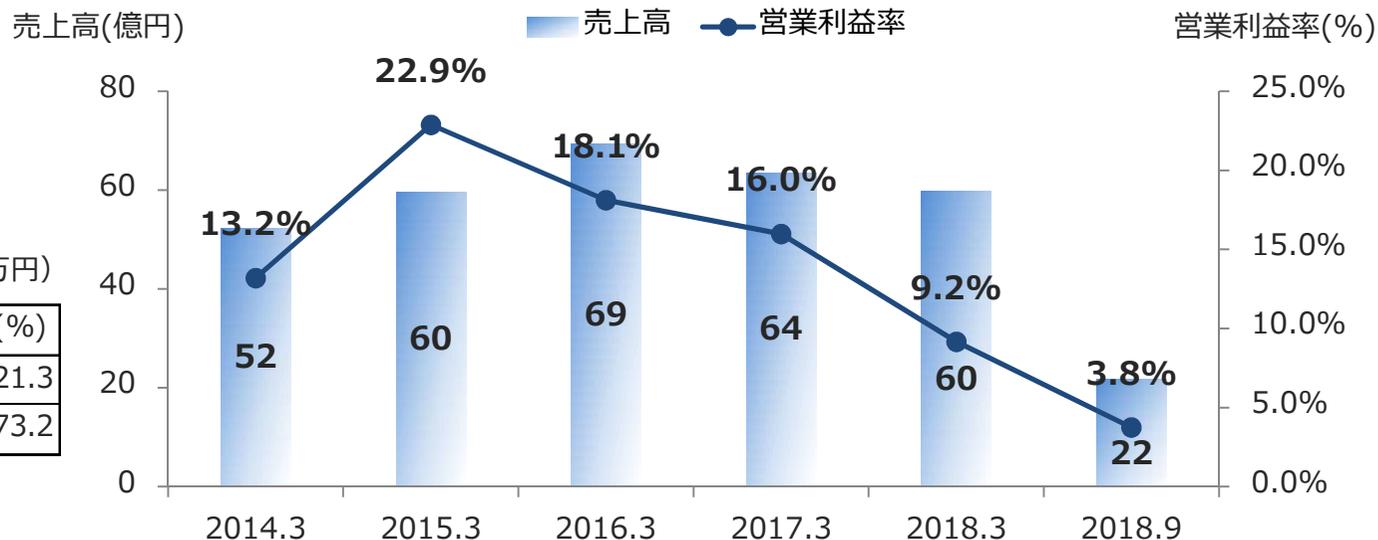
# 有機化学品



## ● 中間期比較

(金額単位：百万円)

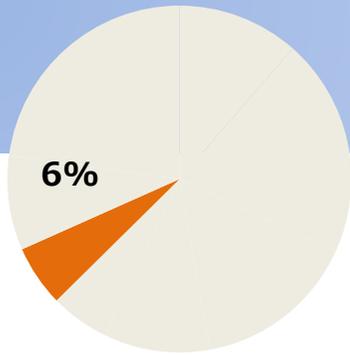
	2017.9	2018.9	増減(%)
売上高	2,770	2,179	▲ 21.3
営業利益	306	82	▲ 73.2



## 2019年3月期中間期のポイント

- 片山製薬所の医薬品原薬・中間体は、受注が下期に偏重していることにより、上期は売上、利益ともに大幅に減少。
- SC有機化学のチオ製品は堅調に推移したが、原材料価格の上昇の影響を受けた。
- 前年同期比 売上高▲591百万円(21.3%減), 営業利益▲224百万円(▲73.2%減)

# 触 媒



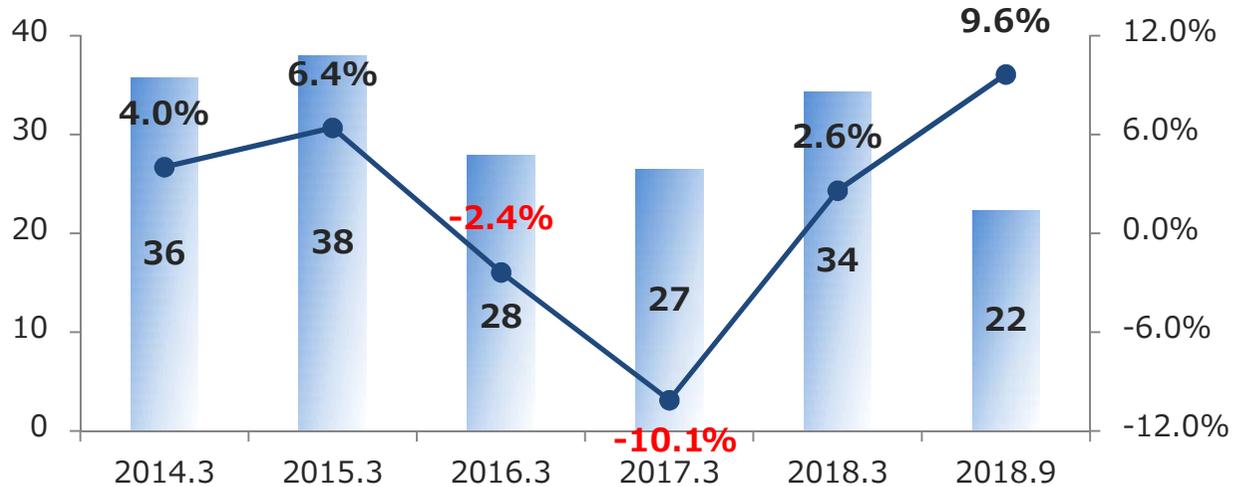
## ● 中間期比較 (金額単位：百万円)

	2017.9	2018.9	増減(%)
売上高	1,638	2,232	36.3
営業利益	▲ 40	215	-

売上高(億円)

■ 売上高 ● 営業利益率

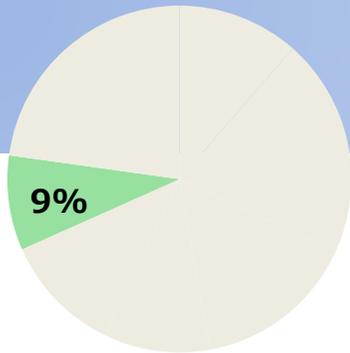
営業利益率(%)



## 2019年3月期中間期のポイント

- 石油樹脂の水素添加などに使用するニッケル触媒は、主要顧客の生産増に伴い売上が大幅に伸長し、また原価が下がったことで収益性改善。
- 脱硝触媒は、中国でのごみ焼却炉向けに堅調に推移。
- 前年同期比 売上高+594百万円(36.3%増), 営業利益+255百万円

# 受託加工



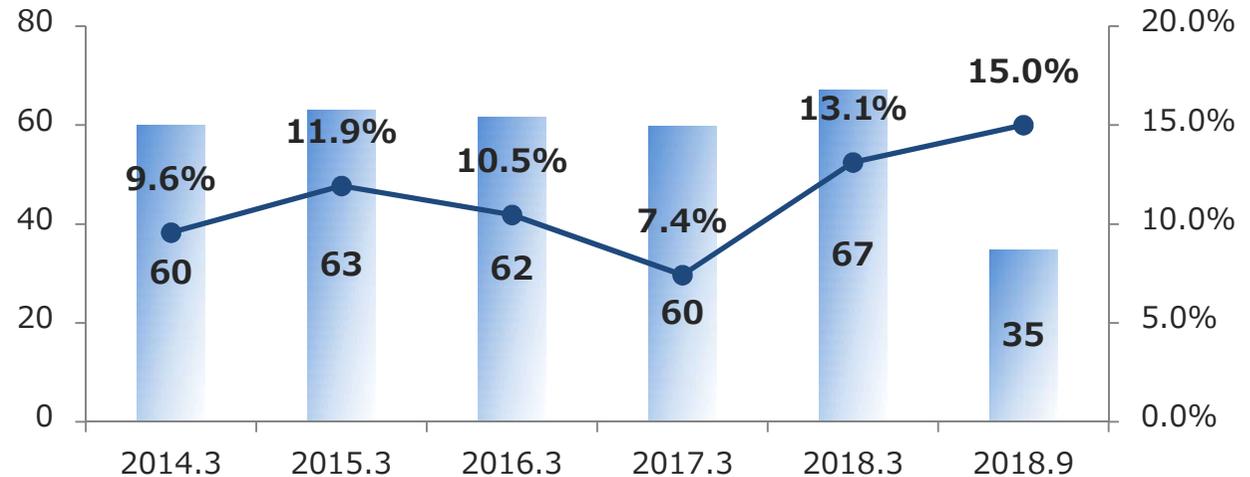
## ● 中間期比較 (金額単位：百万円)

	2017.9	2018.9	増減(%)
売上高	3,284	3,477	5.9
営業利益	418	522	24.9

売上高(億円)

■ 売上高 ● 営業利益率

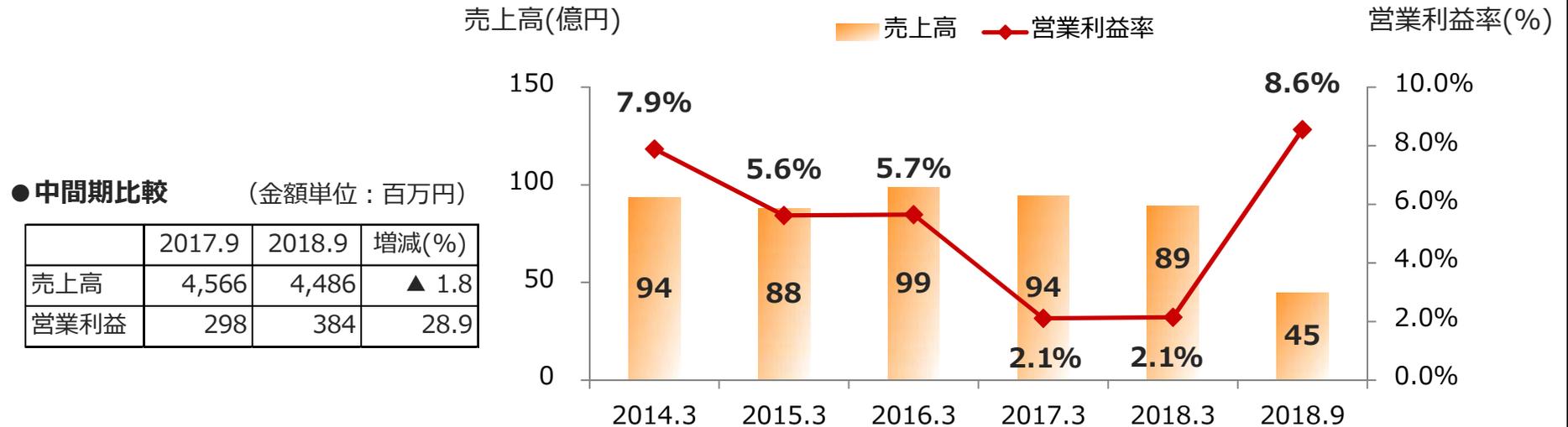
営業利益率(%)



## 2019年3月期中間期のポイント

- レジノカラー工業は、自動車向けマスターバッチや機能性インキなどが堅調に推移。
- 日本カラー工業は、全般的に順調に受託を獲得し、売上・利益ともに好調に推移。
- 前年同期比 売上高+193百万円(5.9%増), 営業利益+104百万円(+24.9%増)

# 医療事業の売上高・営業利益

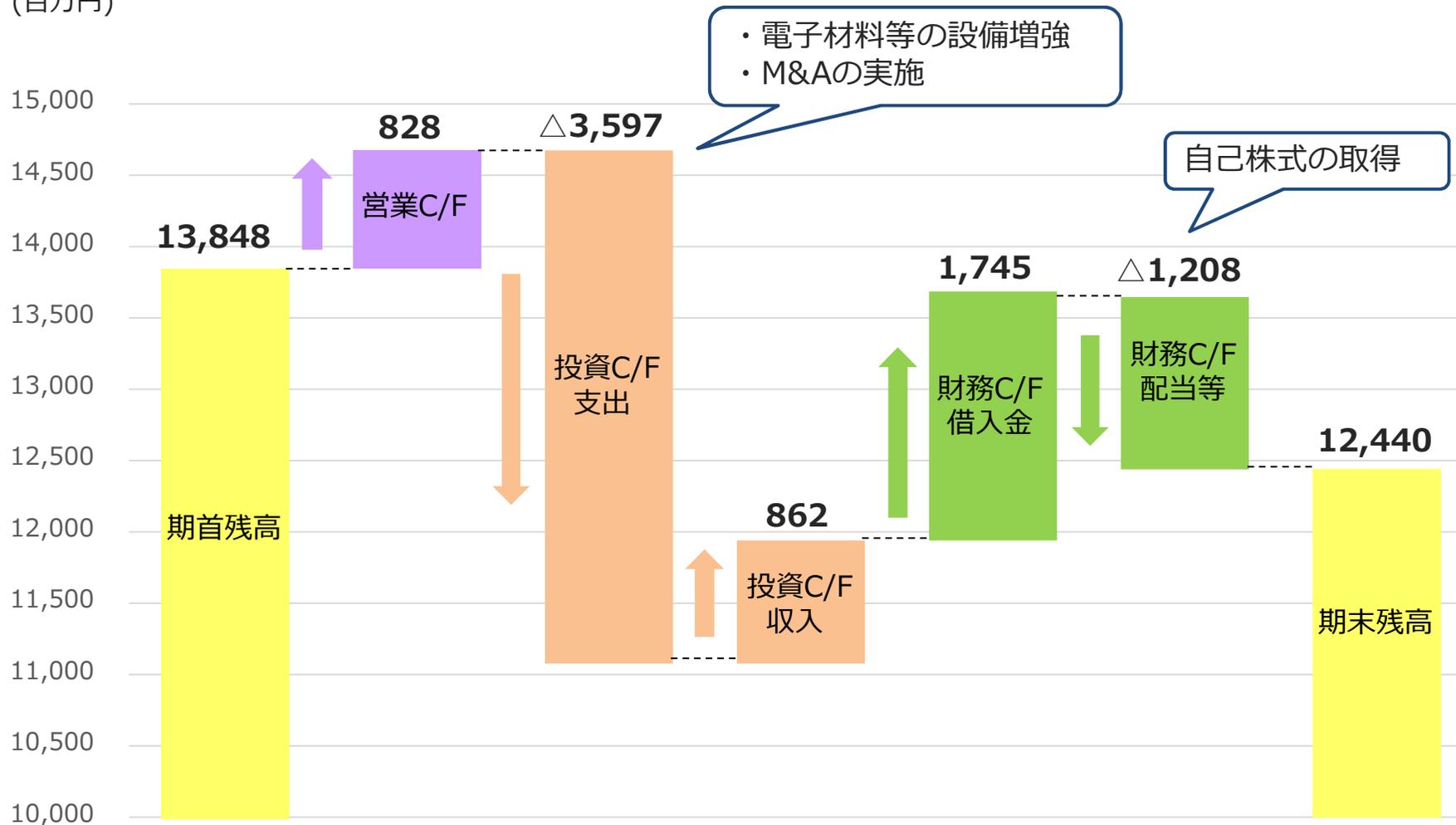


## 2019年3月期中間期のポイント

- X線バリウム造影剤は、薬価引き下げの影響を受けて減益。
- 「アルロイドG」は、薬価引き下げや原料の値上がりの影響を受けて減益。
- 医療機器は、販売台数の増加・メンテナンス契約等の獲得により、堅調に推移。
- かぜ薬「改源」やその他の一般用医薬品は低調に推移。
- 新製品の日焼け止め対策サプリ「ソルプロ」、人口骨充填剤「レボシス」の受託は好調に推移。
- 新製品の治験終了による委託外注費の減少などにより増益。

# キャッシュ・フロー計算書

(百万円)



# 設備投資、減価償却、研究開発費等

金額単位：百万円

摘 要	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	通期予想 2019.3
設備投資額	2,876	4,510	7,988	3,939	4,013	7,000
減価償却費	3,383	3,140	2,169	2,877	3,005	3,500
研究開発費	2,527	2,644	2,773	2,909	3,217	3,300
借入金	12,226	12,672	15,900	16,602	14,576	21,000
従業員数	1,615	1,705	1,796	1,870	1,875	1,900

# 中期経営計画 『共創2018』

## 3年間の業績推移

単位：百万円

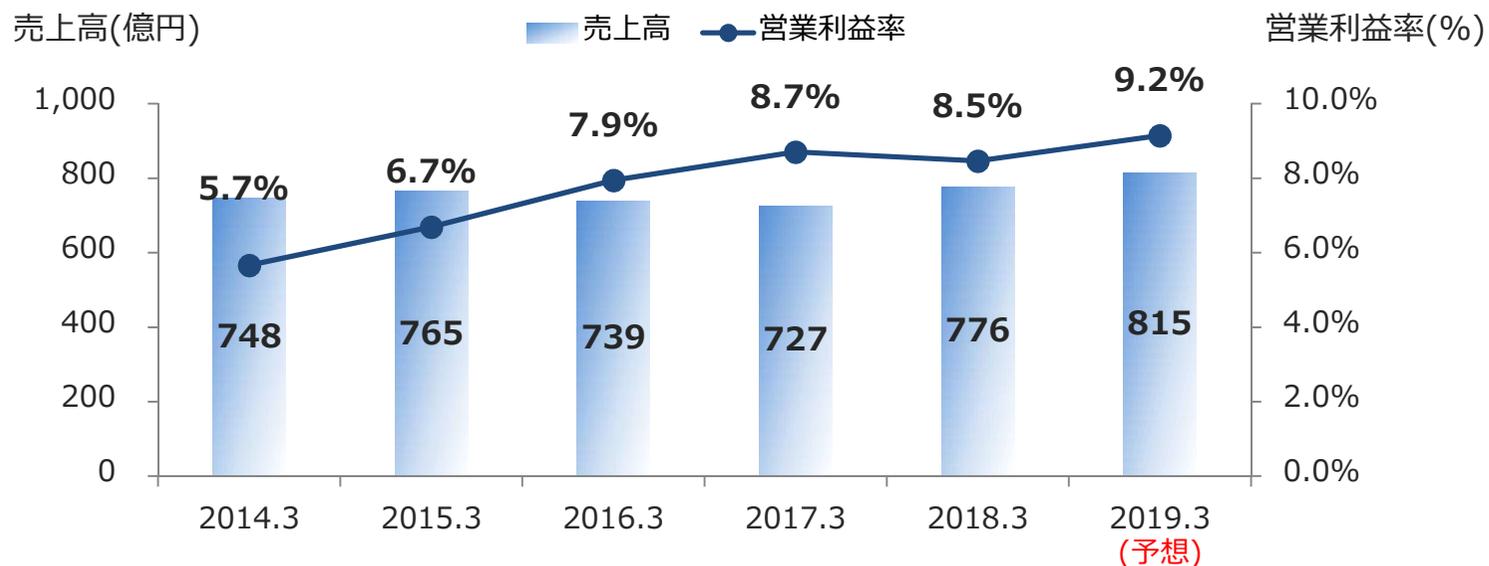
	■ 1年目 (2017.3)	■ 2年目 (2018.3)	■ 3年目 半期実績 (2018.9)	■ 3年目 通期見込み 最終年度目標数値 (2019.3)
売上高	83,938	87,223	43,747	90,000
営業利益	4,551	4,690	2,328	5,400
経常利益	4,290	4,279	2,412	5,000
当期純利益	2,037	2,329	1,528	3,300

### 目標数値達成に向けての下期の取組み

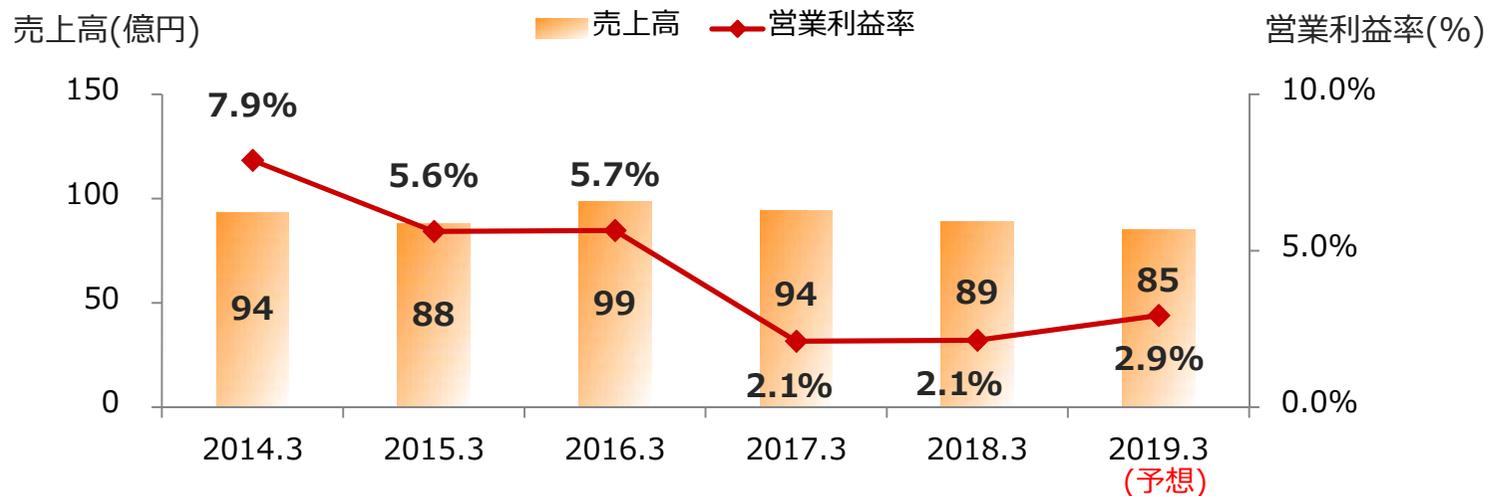
- ・ 医薬品原薬の受託獲得
- ・ 電子材料、化粧品材料、屈折率調整材料など高付加価値品の販売数量増加
- ・ 酸化チタン、樹脂添加剤の価格是正

# 業績予想

化学



医療



# 注力事業・製品

## 誘電体・誘電体材料

今後も車載電子製品の増加やIoTの普及などにより、MLCC需要が増加。



当社は、誘電体材料の設備増設や高純度かつ信頼性に優れた誘電体を開発・提供し、販売数量および売上の増加を見込む。

【MLCCワールドワイドの生産個数推移】



JEITA参画原料メーカー12社の想定平均値

# 注力事業・製品

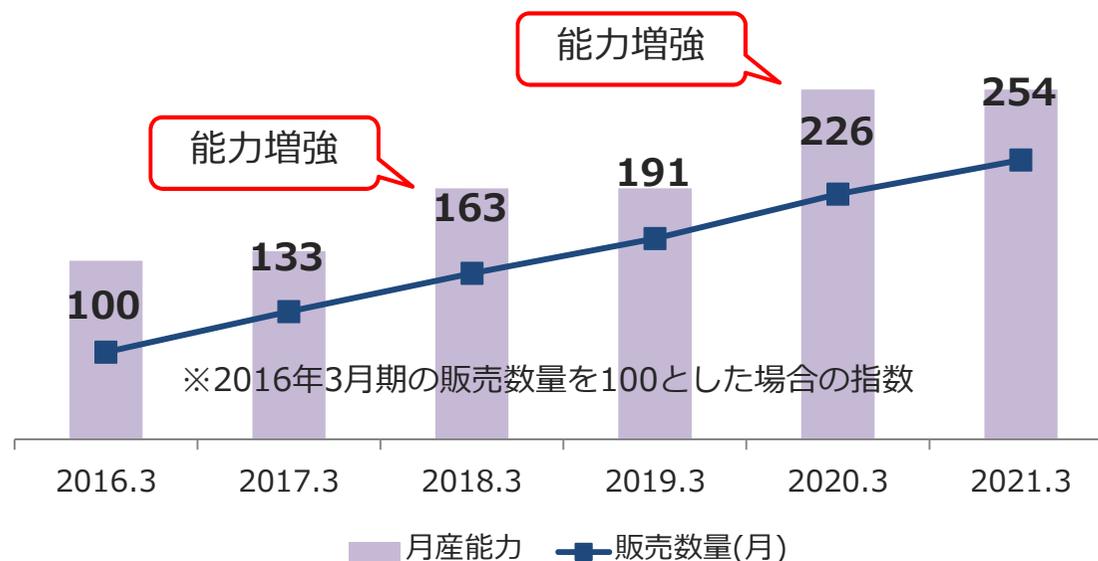
## 誘電体材料

販売数量増加を見越し、  
2017年12月に小名浜事  
業所内の高純度炭酸バリ  
ウム生産設備の増強工事  
が完了。



ユーザーからの増量要請  
もあり、現在は小名浜お  
よび堺事業所において更  
なる増強を進めている。

【 誘電体材料の販売数量計画 】



# 注力事業・製品

## 誘電体

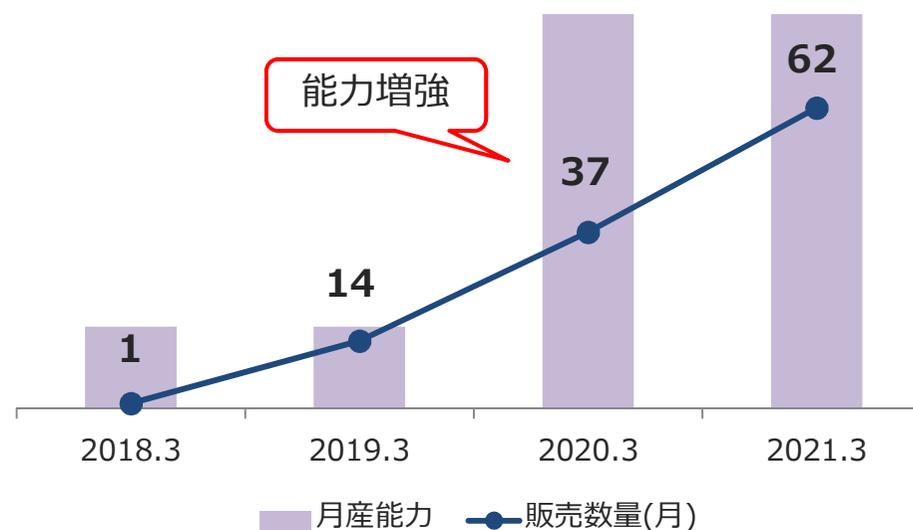
車載向けのMLCCには、信頼性や高耐圧性が求められるため、誘電体の粒度分布や結晶の均一性が重要。微細で粒度分布・結晶性に優れたチタン酸バリウムを開発。



顧客の使用量増加を受け、生産体制の強化および異物・不純物混入防止のため、専用ラインを増設。2019年9月末に完工予定。

### 【微細誘電体の販売数量計画】

※2017年3月期の売上高を1とした場合の指数



# 注力事業・開発品について

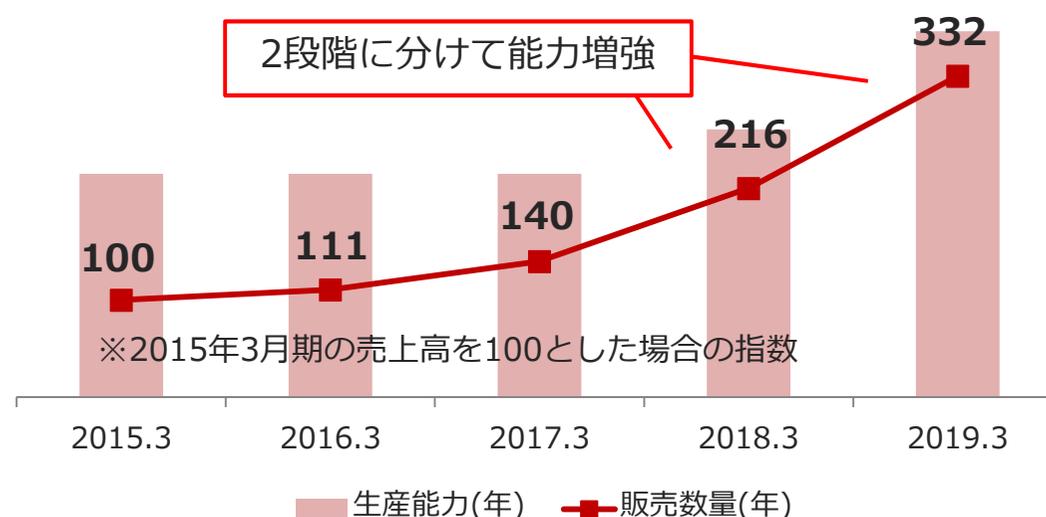
## 化粧品材料

国内は、インバウンド需要のほか、使用シーンによって使い分けることで1人あたりの使用個数が増加している模様。一方、海外では、これまで日焼け止めを使用していなかった地域にも普及し始めている。

- 欧州のガイドライン変更により、酸化亜鉛が使用可能に
- 越境ECで日本製化粧品が海外で買いやすく
- ハワイ州で2021年1月1日から特定の有機成分含有の日焼け止め販売禁止

などの外部環境の変化を捉え、市場以上の伸びを目指す。

【化粧品材料の販売数量計画】



**今後も化粧品市場は堅調に推移する見込みのため、2018年3月末に化粧品向けプラントの生産能力を増強。拡販を実現し、さらなる増強を視野に入れています。**

# 注力事業・製品

## 屈折率調整材料

グレード	特徴	主要用途
<b>シリカ</b> Sciqas シリーズ	低屈折率 1.5 アモルファス 真球状	封止材料 フィルム 半導体基板 歯科材料 トナー
<b>酸化ジルコニウム</b> <b>SZR シリーズ</b>	高屈折率 2.2 分散液 シングルサイズ	歯科材料 セラミック ディスプレイコート カメラレンズコート メガネレンズコート フィルム・ガラスコート
<b>酸化チタン</b> SRD シリーズ(R型) SAD シリーズ(A型)	高屈折率 R型 2.7 A型 2.6 分散液 シングルサイズ	光触媒



# 注力事業・製品

## 高屈折率材料

### 酸化ジルコニウム分散液 SZRシリーズ

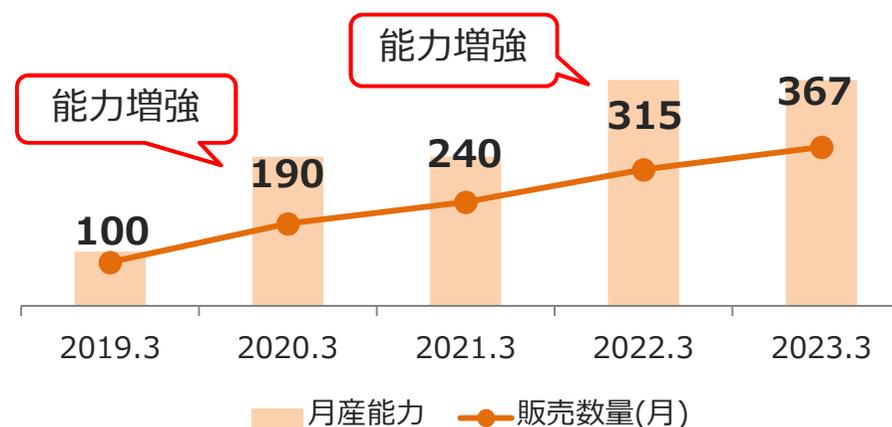
今年度に入り急に立ち上がり、堺事業所再構築も踏まえて2段階に分けて能力増強を実施。（2019年9月、2021年1月完工予定）

#### 高い透明性と高屈折率の両立

- ・ シングルナノ粒子の高分散による高い透明性
- ・ 高結晶性 × 分散剤フリーによる高い屈折率
- ・ 表面処理のカスタマイズによる幅広い分散媒ラインアップ

#### 【高屈折率材料の販売数量計画】

※2019年3月期の販売見込み数量を100とした場合の指数



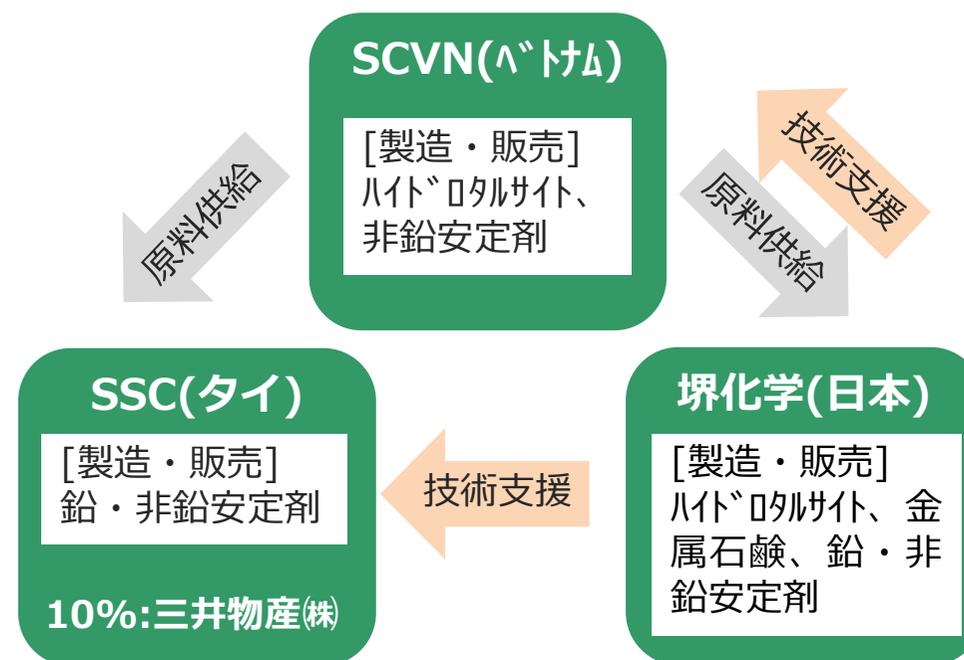
# 海外樹脂添加剤メーカーの取得

## SIAM STABILIZERS AND CHEMICALS CO., LTD. を子会社化

タイで塩ビ樹脂安定剤の製造・販売を行うSIAM STABILIZERS AND CHEMICALS CO., LTD. (以下、SSC) の株式取得 (90%) を2018年8月2日に完了。

SSCをグループ傘下に加えることにより、塩ビ安定剤の製造・販売を、日本・ベトナム・タイの3国で展開する体制を敷くことができました。

東南アジアの中心に位置するタイに生産・販売拠点を持つことで、顧客との距離が縮まりました。顧客の動きを速やかに捉え、拡販のスピードアップを図ります。



# 海外樹脂添加剤メーカーの取得

## PVC需要

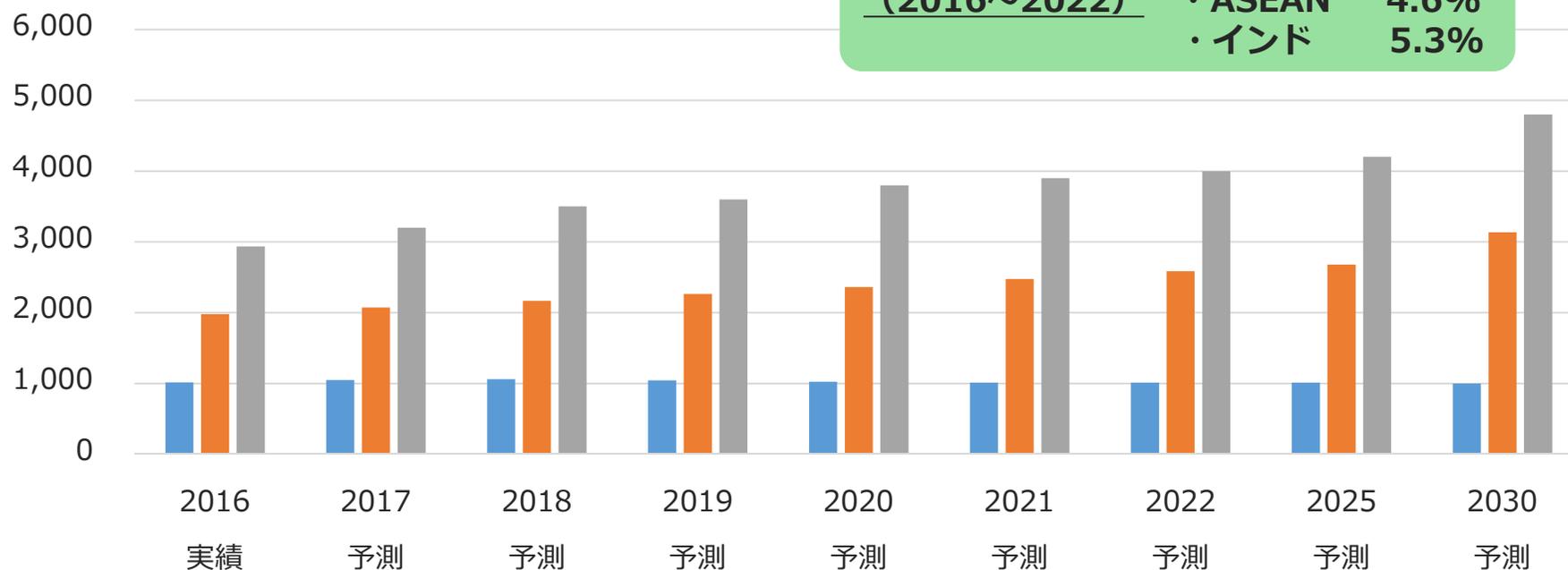
日本は成熟市場であるが、アジア（新興国）ではインフラ整備に伴い、今後も需要増加が見込まれる。

単位：千トン

■ 日本 ■ ASEAN ■ インド

**年平均成長率  
(2016~2022)**

- ・ 日本 ▲0.1%
- ・ ASEAN 4.6%
- ・ インド 5.3%



※ASEANはシンガポール、タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナムを含む

経済産業省「世界の石油化学製品の今後の需給動向（2018年10月）」より作成



# 海外樹脂添加剤メーカーの取得



SSC(Thailand)

SSCのタイ国内  
シェア:56%

※SSC調べ



## ASEANシェア

A社 32%

SSC 21%

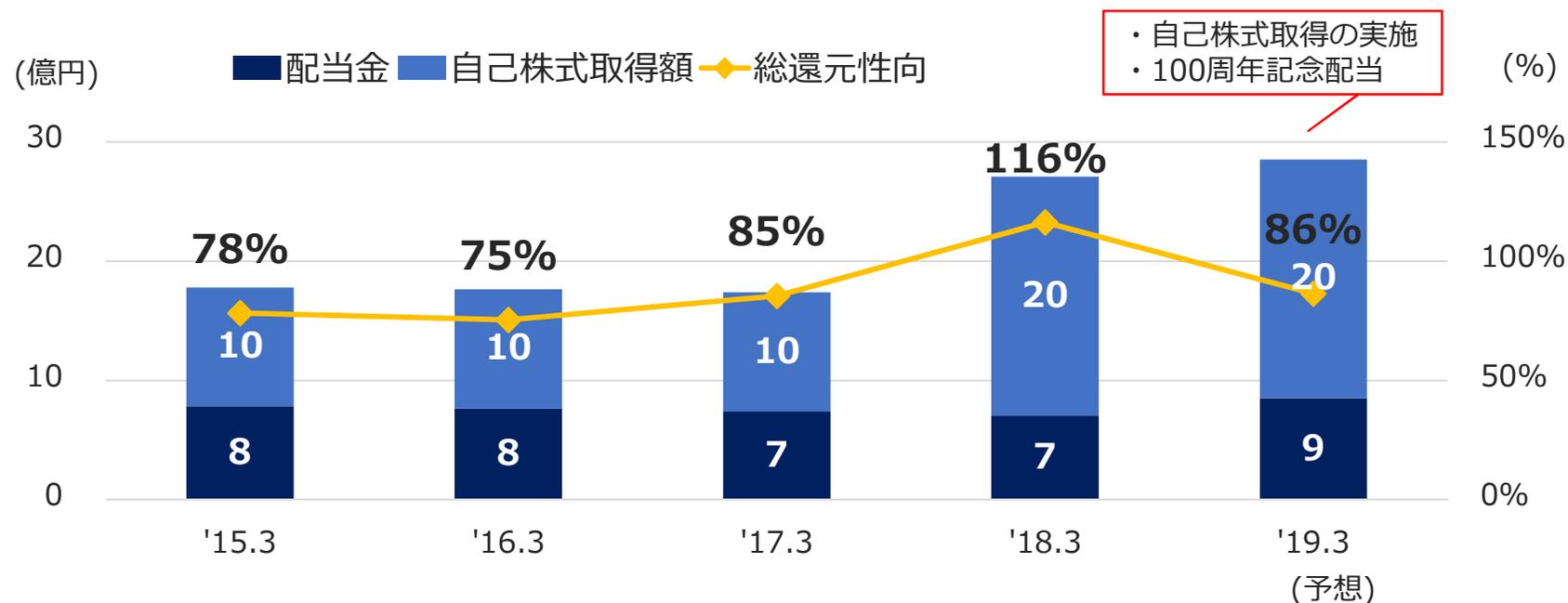
B社 13%

C社 7%

※SSC調べ

SSCのシェアおよび生産能力を最大限に活用し、  
塩ビ安定剤ビジネスの海外展開を強化。

# 株主還元策



## ■ 剰余金の配当等の決定に関する方針

剰余金の配当につきまして当社は、株主の皆様への安定した利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を図るとともに利益動向や経営環境を勘案し、年2回の配当を実施することを基本方針としております。

今後も、中長期的な視点にたつて、成長が見込まれる事業分野に経営資源を投入することにより、持続的な成長と企業価値の向上ならびに株主価値の増大に努めてまいります。

# ご清聴ありがとうございました。

本資料における見通しは、本資料発表日時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。



# 参 考 資 料

- 当社概要
- 沿革
- 事業紹介
- 業績推移等



# 堺化学工業(株) 会社概要

本 社	堺市堺区戎島町5丁2番地
代 表 者	代表取締役社長 矢部 正昭
創 業	1918年6月
事業内容	無機化学工業製品、有機化成品、医薬品の 開発・製造・販売
総 資 産	120,338百万円
純 資 産	81,891百万円
関係会社	連結子会社17社（国内8社、海外9社）
従業員数	連結1,903名/単体767名（2018年9月末現在）



# 沿 革

1918年	堺精煉所創立 化粧品用酸化亜鉛の製造開始
1920年	各種バリウム製品の製造開始
1935年	わが国初、酸化チタンの工業生産に成功
1936年	堺商事(株)設立
1949年	塩ビ安定剤の製造開始
1963年	小名浜工場（福島県いわき市）完成（酸化チタン需要増に対処）
1964年	(株)カイゲン（現 カイゲンファーマ(株)）設立（医薬品事業に本格進出）
1969年	ニッケル触媒の製造開始
1978年	脱硝触媒（窒素酸化物除去触媒）の製造開始
1992年	電子セラミックス材料の製造開始
1994年	富岡化学(株)（現 SC有機化学(株)）の全株式取得（有機化成品分野に本格進出）
1997年	超微細酸化亜鉛プラント完成
2005年	化粧品向け超微細品プラント完成



# 沿 革

2007年	Sakai Chemical (Vietnam) Co., Ltd. 設立 (樹脂添加剤事業海外進出)
2012年	(株)片山製薬所の全株式取得 (医薬品原薬・中間体分野に進出)
2012年	堺商事(株)がインドネシアにPT.S&S HYGIENE SOLUTION(合併会社) 設立 (衛生材料分野に進出)
2014年	カイゲンファーマ(株)が松岡メディテック(株)の全株式取得
2016年	(株)片山製薬所 富山工場第3製造棟 竣工
2016年	レジノカラー工業(株) 三田工場 竣工
2016年	ニッケル触媒 大剣製造所内に設備増強
2017年	松岡メディテック(株)の株式の一部をエア・ウォーター(株)に売却
2017年	ラインファルト工業(株)の全株式をニチレキ(株)に売却
2018年	創業100周年
2018年	SIAM STABILIZERS AND CHEMICALS CO., LTDを子会社化 (樹脂添加剤事業の海外展開強化)

# 当社グループについて

## 化 学【製造・販売】

堺化学工業(株)

大崎工業(株)

レジノカラー工業(株)

共同薬品(株)

SC有機化学(株)

日本カラー工業(株)

(株)片山製薬所

SAKAI CHEMICAL(VIETNAM) CO., LTD.

SIAM STABILIZERS AND CHEMICALS CO., LTD

PT. S&S HYGIENE SOLUTION

## 化 学【販 売】

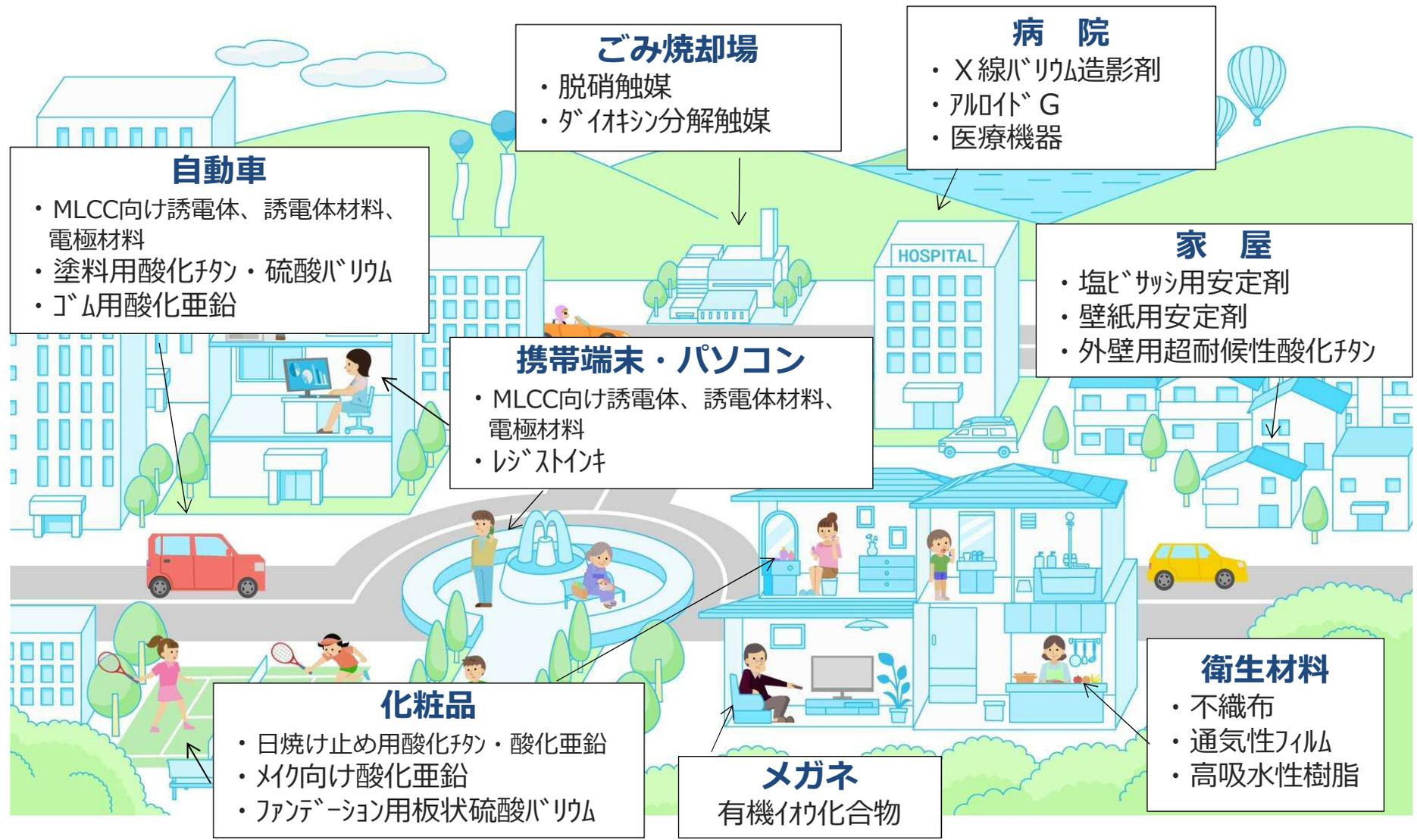
堺商事(株)

## 医 療【製造・販売】

カイゲンファーマ(株)



# 暮らしに息づく当社グループ製品

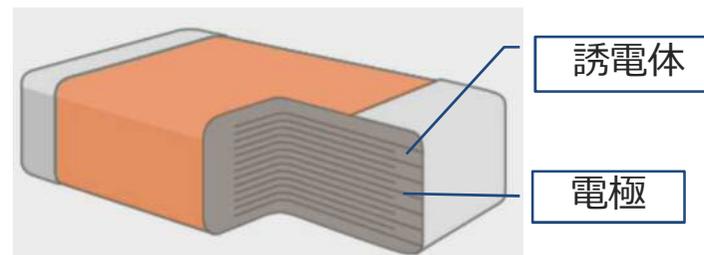


# 事業の紹介 <化学>

## 電子材料

### 積層セラミックコンデンサ

- ・誘電体 (チタン酸バリウム)
- ・誘電体材料 (高純度炭酸バリウム)
- ・電極材料



電子機器には欠かせない積層セラミックコンデンサのメイン材料。  
誘電体は電気をたくさん貯めたり、ノイズを除去する性質を持ちます。  
当社は、微細で形が均一に揃った球状の誘電体を開発し、コンデンサの性能向上に貢献していきます。

こんなところに  
使われています



# 事業の紹介 <化学>

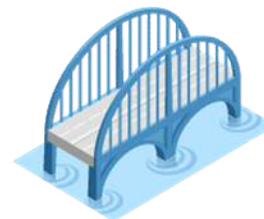
## 酸化チタン・亜鉛製品

- ・酸化チタン…着色力、隠ぺい力、耐候性、化学的安定性に優れる白色顔料
- ・酸化亜鉛…ゴム製品の加硫促進助剤
- ・亜鉛末…建物や橋梁などのサビ止め塗料に
- ・化粧品材料…高い紫外線遮蔽や滑らかな肌触りを実現

酸化チタンは、塗料やインキ、製紙、プラスチック、化学繊維などあらゆる分野に必要とされる素材です。

酸化チタン、酸化亜鉛ともに微細にすると紫外線遮蔽率が高まるため、日焼け止めやファンデーションにも活躍しています。

こんなところに  
使われています



# 事業の紹介 <化学>

## 樹脂添加剤

パイプ、継手、窓枠、壁紙、ワイヤーハーネス

・塩ビ安定剤・非塩ビ安定剤

・ハイドロタルサイト ... 非鉛系塩ビ安定剤や

高い保温性と透明性から農業用フィルムに

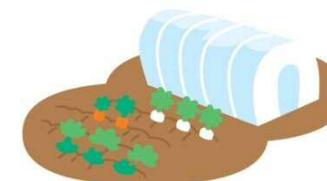


塩ビ安定剤は、樹脂の加工性向上や劣化抑制などのために

添加されます。現在、世界的に塩ビ安定剤の脱鉛化が進んでおり、非鉛系への切替えが加速しています。

ベトナム子会社では非鉛系安定剤およびその原料となるハイドロタルサイトを製造し、東南アジアを中心に販売を拡大しています。

こんなところに  
使われています



# 事業の紹介 <化学>

## 衛生材料

おむつ、生理用品

- ・ 高吸水性樹脂 (SAP)
- ・ 通気性フィルム … 水分を留めて蒸気だけを通す

こんなところに  
使われています

海外で需要が増加している中、インドネシア子会社では  
通気性フィルムを製造しています。



## 有機化学品

プラスチックレンズ、コンクリート、潤滑油、医薬品

- ・ 有機イオウ化合物 … メガネレンズの屈折率向上、  
コンクリート混和剤としても
- ・ 有機リン化合物 … 潤滑油添加剤に
- ・ 医薬品原薬・中間体

こんなところに  
使われています

有機イオウ化合物BMPAを国内で唯一製造しています。



# 事業の紹介 <化学>

## 触 媒

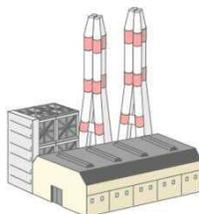
ごみ焼却場、火力発電所、マーガリン、接着剤、光学フィルム

- ・脱硝触媒 … 窒素酸化物を除去
- ・プロセス触媒(ニッケル触媒) … 油脂・樹脂の水素化など

**脱硝触媒は、有害なガスを浄化する働きがあります。  
中国の環境規制の影響により、輸出が増加しています。**



こんなところに  
使われています



## 受託事業

無機・有機化学工業製品の受託製造

…顔料、着色剤、機能性インキ、触媒、樹脂添加剤など

**さまざまな機械を取り揃え、幅広い分野に対応しています。**



# 事業の紹介 <医療>

## カイゲンファーマ(株)

### X線バリウム造影剤

…消化管撮影

1931年に原料となる薬用硫酸バリウムの製造を開始。  
定期検診でお馴染みのものですが、  
海外への輸出も行っています。



### 医療機器

・内視鏡用洗浄消毒器

バリウムから胃カメラ検診への  
移行に対応。  
薬価改定の影響を受けない事業と位置  
付け、開発に注力しています。



### アルロイドG

…消化性潰瘍・逆流性食道炎治療薬

胃・十二指腸潰瘍の止血や  
粘膜保護、逆流性食道炎に  
おける自覚症状を改善。



### 一般用医薬品

・「改源」シリーズ  
・カイゲン顆粒  
・カイゲンパックIB顆粒



台湾市場への販売を開始するなど、ブ  
ランド力の向上に努めています。

# 連結業績推移・予想

摘 要	2015.3	対売上高比率	2016.3	対売上高比率	2017.3	対売上高比率	2018.3	対売上高比率
	売上高	86,973	100.0%	85,520	100.0%	83,938	100.0%	87,223
営業利益	4,164	4.8%	4,615	5.4%	4,551	5.4%	4,690	5.4%
経常利益	4,218	4.8%	4,421	5.2%	4,290	5.1%	4,279	4.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,275	2.6%	2,340	2.7%	2,037	2.4%	2,329	2.7%

摘 要	2018.9	対売上高比率	2019.3	対売上高比率
	売上高	43,747	100.0%	90,000
営業利益	2,328	5.3%	5,400	6.0%
経常利益	2,412	5.5%	5,000	5.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,528	3.5%	3,300	3.7%

金額単位：百万円



# 主要会社の売上高・営業利益

金額単位：百万円

摘 要		2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2018.9
堺化学工業	売上高	35,509	35,229	36,384	38,802	20,433
	営業利益	480	1,320	1,697	2,088	777
	営業利益率	1.4	3.7	4.7	5.4	3.8
堺商事	売上高	37,734	36,524	34,353	36,761	19,775
	営業利益	525	460	558	417	325
	営業利益率	1.4	1.3	1.6	1.1	1.6
カイゲンファーマ	売上高	8,803	8,789	8,675	8,585	4,486
	営業利益	495	497	183	184	384
	営業利益率	5.6	5.7	2.1	2.1	8.6
大崎工業	売上高	6,159	5,157	4,766	5,004	2,597
	営業利益	339	379	368	437	167
	営業利益率	5.5	7.3	7.7	8.7	6.4
レジノカラー工業	売上高	5,738	5,786	5,466	5,764	2,842
	営業利益	501	515	255	306	150
	営業利益率	8.7	8.9	4.7	5.3	5.3

# 化学事業の製品別売上高・営業利益推移

金額単位：百万円

摘 要		2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2018.9
電子材料	売上高	7,426	6,463	7,398	8,033	4,497
	営業利益	556	695	803	969	366
酸化チタン・亜鉛製品	売上高	12,380	13,051	13,914	15,758	7,999
	営業利益	▲ 456	236	713	624	148
樹脂添加剤	売上高	10,512	10,695	11,151	11,934	6,048
	営業利益	▲ 14	183	530	529	168
衛生材料	売上高	9,576	9,526	8,176	8,558	3,907
	営業利益	▲ 62	▲ 96	182	100	118
有機化学品	売上高	5,957	6,927	6,353	5,979	2,179
	営業利益	1,363	1,256	1,016	548	82
触 媒	売上高	3,803	2,795	2,650	3,427	2,232
	営業利益	244	▲ 66	▲ 268	89	215
受託加工	売上高	6,313	6,168	5,988	6,721	3,477
	営業利益	753	645	444	882	522
その他	売上高	20,502	18,315	17,053	17,218	8,964
	営業利益	1,196	1,323	1,015	800	325
合 計	売上高	76,469	73,940	72,683	77,628	39,302
	営業利益	3,580	4,176	4,435	4,541	1,945

注：化学事業の営業利益から全社費用を差し引いています。

# カイゲンファーマの製品別売上高推移

金額単位：百万円

摘 要	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2018.9
バリウム	2,436	2,453	2,315	2,327	1,309
アルロイドG	1,279	1,088	880	860	502
医療機器	1,922	2,074	2,309	2,290	1,246
一般用医薬品	1,717	1,729	1,580	1,463	548
その他	1,449	1,445	1,591	1,645	881
合 計	8,803	8,789	8,675	8,585	4,486